

特定非営利活動法人スフィーダ（東京都世田谷区）

■ 賛同するテーマ



JFA グラスルーツ推進 賛同パートナー

■ 団体の理念・ビジョン・方針

女子サッカーを核とした、世田谷に根ざすみんなのスポーツクラブ

■ 主な活動内容

女子サッカーの普及と強化、女子を中心とした生涯サッカーの支援、ウォーキング・サッカー普及を通じた地域の生涯スポーツ・コミュニティスポーツ活動、障がい者スポーツ活動への支援。

■ 私たちのグラスルーツ宣言

私たちは；

女子サッカーを核とした、世田谷に根ざすみんなのスポーツクラブ

ビジョン；

スフィーダ(挑戦)を通じて、世田谷をもっと楽しくする

ミッション

スポーツの楽しさ(※1 する・観る・支える・極める)の提供を通じ、その力でクラブに 関わる全ての人々の人生を豊かにしていく。

・地域活性化のプラットフォームとして、人と地域の架け橋(※2 集める・繋げる・育てる)となる。

・女子サッカーチームが核であることを活かし、スポーツを軸に※3 多様性社会推進に貢献する。

バリュー；

・全ての活動において、未来を見据え失敗を恐れずに挑戦し続ける姿勢

・関わる人々の情熱や思いを大切にし、継続性を重視したクラブ運営

・育成を全てのベースとし、憧れ(目標)となり、明確なスタイルがある トップチームづくり

■ 上記宣言を具現化するための活動内容

女子サッカーは私たちの最も中心的な活動であり、普及から育成、そして強化にクラブとして 2001 年から取り組んでいます。またスフィーダカップという年 1 回の女子中学生チームにカップ戦を主催、地域のチームでサッカーをプレーする少女たちに交流の機会を提供しています。さらに、ママさんチームも地域リーグに参加し、女子サッカーの生涯スポーツ化をけん引する存在となっています。

社会貢献に関しては、地域のお祭りやイベントへの協力、清掃活動への参加、小学生（男女とも）へのサッカー教室の開催等を行ってきました。2019 年からはウォーキング・サッカーの体験会を定期的に主催し、10 代から 80 代までの人々

がともにプレーを楽しむ機会を提供しています。運動体験の少ない方、地域の人々との交流の少ない方、ニート、障がい者といった社会的弱者に参加を呼びかけることで、地域の社会関係資本の強化に取り組んでいます。

2021年にブラインドサッカーチーム「スフィード世田谷 BFC」を創設、パラスポーツの普及を通じた多様性を受け入れる社会促進への試みもスタートしました。また、世田谷を拠点とするロービジョンフットサルチーム(Valer 東京)との協力・支援を行っています。2022シーズンは、全ホームゲーム会場において、社会的課題に取り組む団体の方々（Food Drive, Fare Trade, 動物保護、野菜の地産地消、犯罪防止等々）にご協力いただき、イベントを開催していく予定です。

■ 活動報告

[団体ホームページはこちら](#)